

## BSE検査の見直しについて

本県では、これまで自主的に実施してきた全頭検査について、国の改正内容に合わせて、7月1日から48か月齢超を対象に検査を行っています。

### 1 経緯

- 平成13年9月 国内初のBSE感染牛の発見
- 同年10月 検査対象月齢を全月齢としてBSE検査開始
- 平成17年8月 検査対象月齢が21か月齢以上へ引き上げ（全頭検査は継続）
- 平成25年4月 検査対象月齢が30か月齢超へ引き上げ（全頭検査は継続）

### 2 リスク評価の要点

- (1) 国内では、平成14年2月以降11年間以上にわたり、新たに生まれた牛に感染牛の発生はない。
- (2) 飼料規制と特定危険部位の除去を柱とするBSE対策について、その有効性が確認できる状況であり、今後、国内でBSEが発生する可能性はほとんどない。
- (3) EUにおけるBSE発生実績等から、検査対象月齢を48か月齢超へ引き上げても人への健康影響は無視できる。

### 3 国の改正内容

BSE検査の対象月齢を、現行の30か月齢超から48か月齢超へ引き上げ  
（施行期日：7月1日）

### 4 本県の対応

- (1) 全頭検査を見直し、7月1日から、48か月齢超を対象に検査を実施
- (2) チラシ等広報媒体の活用や説明会の開催等により、県民に対して、リスク評価結果や見直し内容を引き続きわかりやすく説明

### 【参考】

- (1) 「BSE対策の見直しに関する説明会」実施結果

- ・日 時：平成25年6月7日（金）
- ・場 所：岡山国際交流センター
- ・参加者数：約90名（一般消費者、食品関係業者、行政関係者等）
- ・主な内容：健康影響評価の結果、BSE対策の見直し等
- ・意見等：反対意見はなく、丁寧な説明や新たな情報の提供を求める要望

- (2) 検査頭数への影響 4,396頭 → 2,299頭（H24年度）